

# 丸善CHIホールディングス株式会社

## 経営計画

2020年4月27日



MARUZEN CHI  
Holdings

# 経営理念・環境認識

経営理念

価値観：知は社会の礎である

グループ  
ビジョン

知の生成と流通に革新をもたらす企業集団となる

環境認識

- 人口減少に伴い、国内市場は緩やかに縮小
- 大学・自治体等の書籍購買予算も横ばいまたは微減傾向
- 一方、高齢化社会や地方創生による新たな社会ニーズが顕在化
- 書籍・雑誌販売額はピーク時（1996年）の半分を割り込む
- 同じく書店数は1996年の2万6千店と比較すると半減
- ネット小売、電子書籍が急速に拡大。消費者・読者の購買スタイルの変化

# 事業戦略テーマ

経営理念

価値観：知は社会の礎である

学びとともに生きる社会への取り組み

地域創生への貢献

新しい書店収益モデルの創造

# 戦略テーマ別取り組み

## 学びとともに生きる社会への取り組み

### 事業課題

- 人生100年時代、高齢化、IT化が進み、学びや働き方が大きく変化していく
- より幅広い世代に、広範な知識や技能を身につける機会が必要となる

### 取り組み

人生100年時代に必要な学びのコンテンツと仕組みを提供する事業を拡大

- 学び続ける社会への貢献
- 学びの仕組み提供

# 戦略テーマ別取り組み

## 地域創生への貢献

### 事業課題

- 人口減少社会の中、地域創生はこれからの日本の大きな課題
- 地域ごとの暮らしを、どのように豊かなものにしていくかが、求められていく

### 取り組み

これまで培った図書館運営や、学習環境づくりのノウハウを活用し地域創生事業を拡大する

- 知の拠点づくりへの取り組み拡大
- グループ総合力を発揮するための組織設置「CHI創生研究所」

# 戦略テーマ別取り組み

## 新しい書店収益モデルの創造

### 事業課題

- 業務の効率化、集客力や品揃えの向上など、収益構造改善施策を推進
- その結果、店舗・ネット販売事業は2年連続で増益となり、収益体質の改善が進捗

### 取り組み

これまでの取り組みを継続・強化し、さらなる収益力の向上を目指す

- 提案力を高める複合化や品揃えの充実
- ITを用いたサービス向上と業務効率化の推進

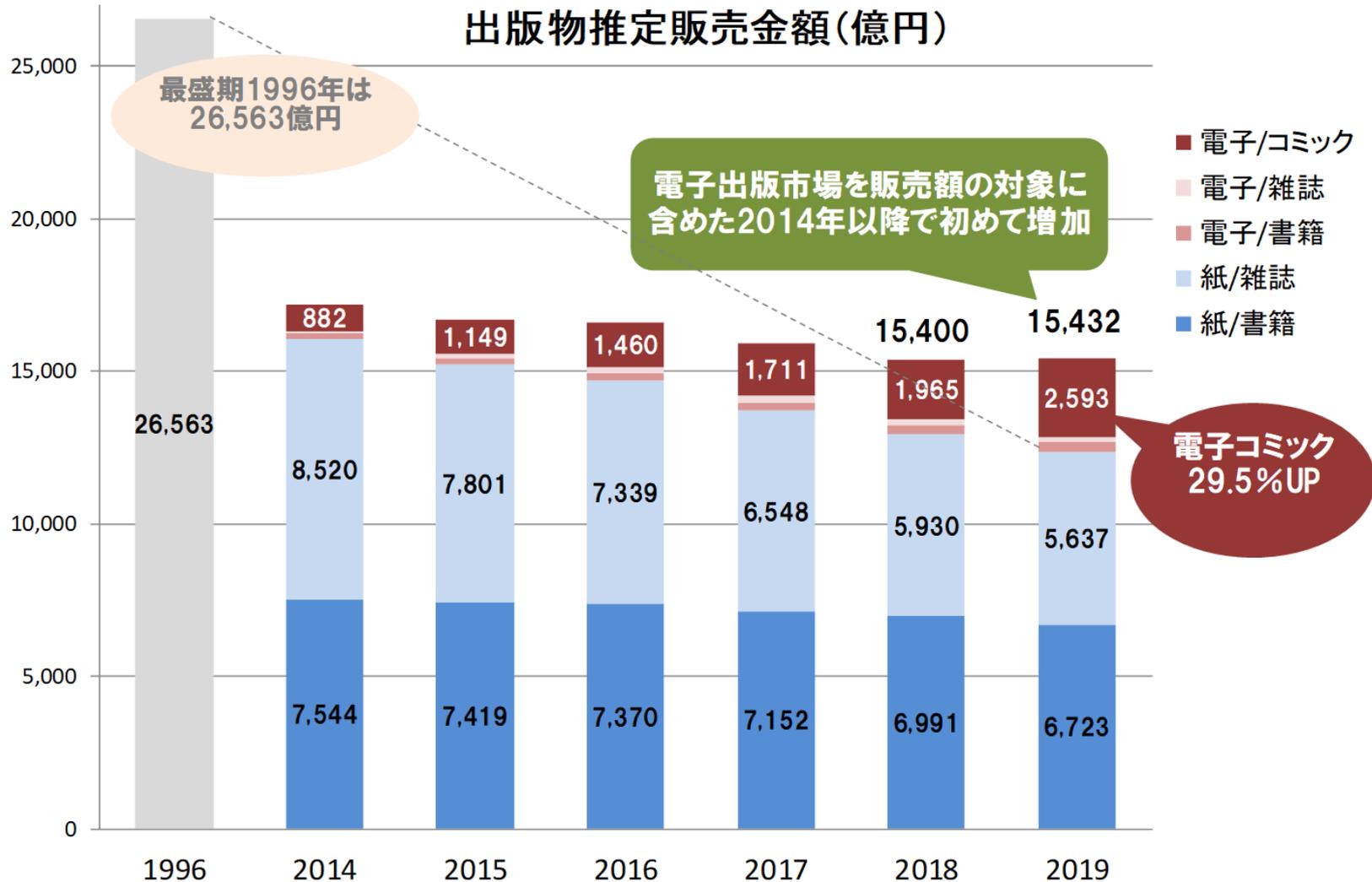
## 収益計画

- 2020年初頭より感染が拡大している新型コロナウイルス感染症の影響による消費活動の停滞や感染拡大防止対応が、当社グループに与える影響を現時点では予想できないため、2021年1月期の連結業績予想は、現時点では未定とさせていただきます。
- 今後、業績への影響が合理的に予想可能となった時点で速やかに公表させていただきます。

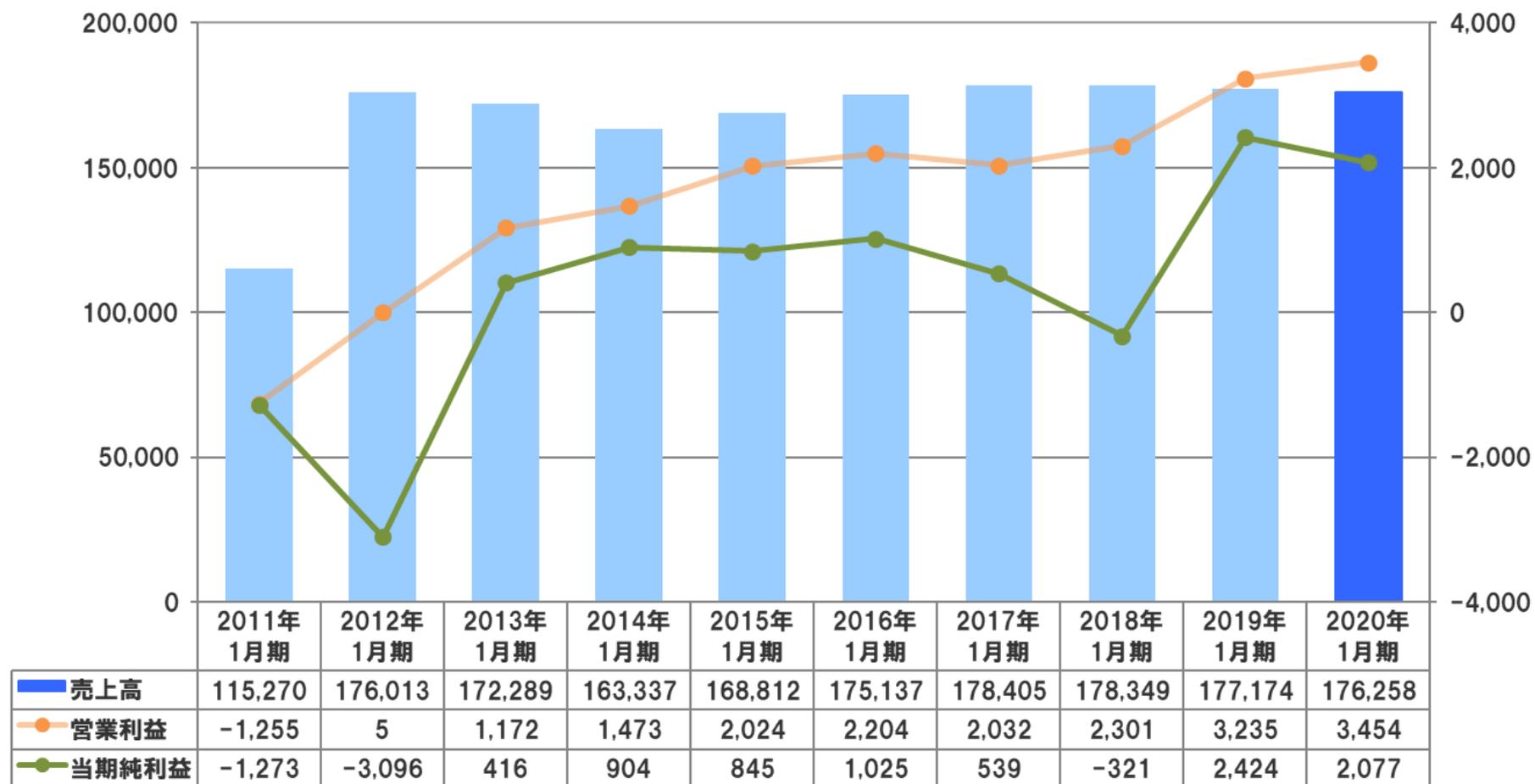
## 配当および資本政策

- 当社グループは、株主に対する利益還元を重要な経営課題と認識しており、今後の事業拡大に備えた内部留保を 図りながら、業績に応じた配当を行うことを基本方針としております。
- 当社を取り巻く市場環境は、出版物販売額の長期に亘る減少、コンテンツ流通の多様化、少子化による学生数の減少など、今後も大きな変化が継続するものと考えます。
- これらの市場環境、社会環境の変化への対応として、当社では本経営計画記載の施策を中心に推進することで、安定的な収益体質を構築し、長期に亘って株主に対して安定的に利益還元できる収益体質の構築に努めます。

# 参考：出版物販売市場動向



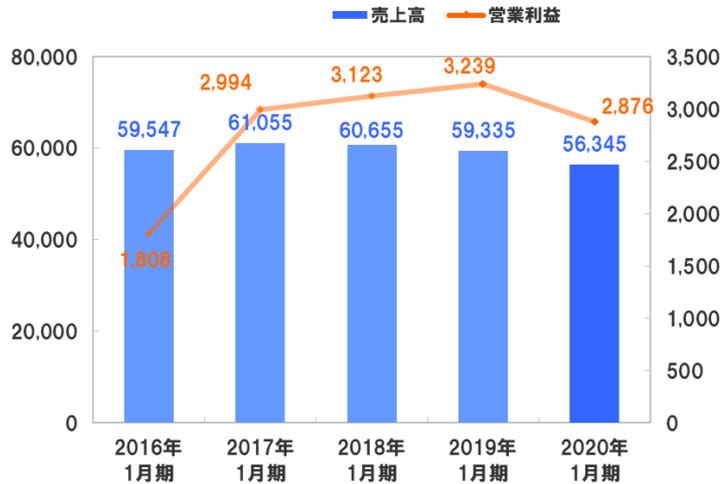
# 参考：全社業績推移



(単位:百万円)

# 参考:セグメント業績推移

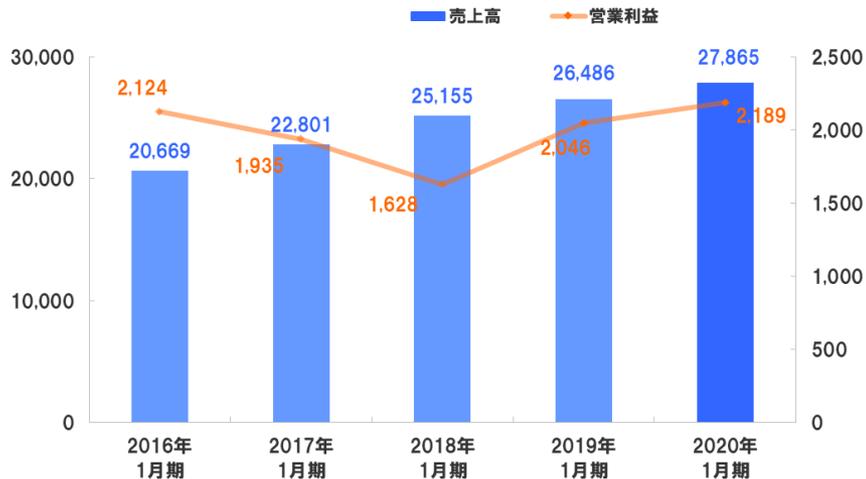
## 文教市場販売事業



## 店舗・ネット販売事業



## 図書館サポート事業



## 出版事業



## 参考:セグメント業績推移

## その他事業

